授業科目	応用日本語					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	神崎　明坤						
授業概要	書籍、新聞、雑誌を読んだり、語ったりすることを通して、日本語の四技能（読む、書く、話す、聞く）を磨き、また、論理的思考をも向上させる。						
授業形態	講義・演習			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	・上級レベルの日本語の四技能を身につける。そして日本語での各授業の理解力を高める。 ・日本語で論理的に考える力を身に着ける。 習得した日本語を使って、基本的な読む、書く、聞く、話すことができる。
理想的レベル	習得した日本語を使って、少し高度な読む、書く、聞く、話すことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	30%	
小テスト	25%	
レポート	25%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	20%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	T012004J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習	1

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	日本語の書籍・新聞を読む。 日本自然環境、位置、国土、気候について
第 3 回	日本語の書籍・新聞を読む。 日本の主な島本州、北海道等について
第 4 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本の歴史原始・古代について
第 5 回	日本語の書籍、新聞を読む。

	日本の歴史縄文時代、弥生時代、古墳時代
第 6 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本歴史奈良時代、平安時代
第 7 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本の鎌倉時代、室町時代
第 8 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本の安土時代、江戸時代、明治時代
第 9 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本大正、昭和時代、平成時代
第 10 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本文化の特徴（重層性、均一性、現実的）
第 11 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本人の自然観について
第 12 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本人の宗教心、勤労意識について
第 13 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本人の美意識、娯楽観について
第 14 回	日本語の書籍、新聞を読む。 日本人の集団主義、義理人情について
第 15 回	纏めと試験
テキスト	適宜プリントを配ります。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本語の辞書。
課題に対するフィードバックの方法	小テスト、発表、レポートや定期試験等を実施します。小テストや発表評価は採点後、返却します。 毎回真面目に授業に参加すれば、無理なく日本語をマスターすることができるので、頑張ってください。 15 回目の授業中に定期試験を実施します。
学生へのメッセージ・コメント	一定レベルの日本語語彙、文法知識、および読解・聴解能力。 毎日、少しでも日本語の文章を読むようにしてください。音読もしてください。